

元気で楽しく 過ごせるように

間近に訪れた古希を前にし、主人ともども元気で楽しく毎日を過ごせるよう、健康体で、そしてお互いに趣味を生かし、その仲間の皆さんと仲良くこれからの人生を有意義に過ごしていきたいと思っています。

高尚な趣味ではありませんが、主人は碁、私は週1回カラオケ、ピアノ、月1回読書会集いと、毎日がめまぐるしい多忙さなんです。が、これこそ健康を保持し、生きがいとなつて過ごせる役割だと思つていきます。

これからの21世紀、日本の総人口の4分の1が高齢者で、その反面少子化のスピードはますます加速しています。福祉、介護、法的整備環境問題も遅れが目立ち、考えると心細く悩んでしまいます。これからは、自分たちが健康を守り、保持し、独立している息子たちにも負担をかけないようにと考えています。

ことわざで『一年の計は元旦にあり』この言葉どおり明日とはいわず今から元気で過ごせる心構えをしています。体力ではボランテニアできませんが、今まで続けてきた老人ホームの慰問は、歌の仲間の皆さんと長く続け、少しでも

役立ち、喜んでいただければ幸福を感じます。

(富士町／児嶋姫子さん)

『第二十三回全国会長研修会』 成功に向けて

新年明けましておめでとうございます。2005年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

私は現在34歳で、登別商工会議所青年部に所属し、2005年4月から、実はその会の『会長』を引き受けねばなりません。

2002年に30歳となつたわが青年部は、2005年度にとつてもない大きな事業をやり遂げねばなりません。全国に名だたる名湯登別に、全国の青年部津々浦々に呼びかけ、平成18年2月に約1千200人以上の仲間が集まつてもらう予定です。

私は『会長』といつても、これは組織を円滑に動かす役割の一つにすぎません。全国一少ない会員数で『第二十三回全国会長研修会』に立候補した無謀さが、青年らしい『野望と勇氣にあふれたもの』と登別に来ていただいた方々に感じてもらうため、私も役割の一つをこなし、45人の青年部全員がしっかりとまとまって「大きなイベントを堂々と実行した」と言われる



よう務めなければなりません。

登別という湯煙たなびく情緒あふれるまちに、全国から多くの仲間を迎えることで、登別はきつと輝きを増すものと信じています。

そして、訪れた方たちが、色々な感動を心にもつて、『この次は自分の愛する人と訪れよう』『自分子どもに自然豊かな登別を体感してもらおう』と登別のファンを増やすこと、これこそが私の新年の決意です。

登別商工会議所青年部、本年もよろしく願い申し上げます。

(仲村尚也さん・登別商工会議所青年部副会長)

たくさんのご投稿
ありがとうございました。

※掲載させていただいた『手紙』は順不同です。

12

月



▲郷土資料館体験学習『正月しめ飾りづくり体験』(12月11日)

11

月



▲映画『007』ロケ誘致署名簿伝達式 (11月7日)

2004年を振り返って ⑩